

国道の開通について

はこだて しんそとかんじょう くうこう
○函館新外環状道路(一般国道278号)空港道路



国道の開通予定(位置図)

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

- 北海道の強みである「食」や「観光」等を担う道内各地の生産空間の維持・発展を図り、広域分散型の地域構造を支える高規格幹線道路及び地域高規格道路のネットワークの形成を推進しています。
- 令和3年3月に、地域高規格道路1路線(空港道路)の開通が予定されています。



函館新外環状道路 事業概要

- 函館新外環状道路は、函館市桔梗町を起点とし、函館市古川町に至る延長約15kmの地域高規格道路であり、北海道縦貫自動車道や函館・江差自動車道と一体となり、6圏域中核都市である函館市や近隣都市間を連絡する高速ネットワークを形成します。
- このうち赤川IC～函館空港ICまでの延長7.6kmが、令和3年3月28日（日）に開通することで、函館IC～函館空港ICまでの総延長が10.0kmまで延伸し、空港に直結します。
- 空港に直結することにより、主要観光地へのアクセス、流通利便性の向上や救急搬送の支援、交通事故の低減が期待されます。
- 今回開通する空港道路は、函館IC～赤川ICまで片側2車線、赤川IC～函館空港ICまでは片側1車線の自動車専用道路で通行無料です。

▼事業位置



▼函館新外環状道路の整備状況



▼函館IC～函館空港間の所要時間の変化

空港道路整備前 (一般道通行時)	夏期	30分
	冬期	33分
空港道路赤川IC開通後 (H27.3.14)	夏期	28分 ← 2分短縮
	冬期	30分 ← 3分短縮
空港道路函館空港IC開通後 (R3.3.28)	夏期	11分 (12分) ← 19分短縮 (18分)
	冬期	12分 (13分) ← 21分短縮 (20分)

資料：H27全国道路・街路交通情勢調査、函館IC～日吉ICは80km/h、日吉IC～函館空港ICは70km/h、冬期速度はH28～30年度ETC2.0カーブ速度(通常期:4～11月、冬期:12～3月)から算出した冬期低速率を通常期速度に乘じ算出、括弧内の時間は函館IC～赤川IC間が暫定2車線の場合

**函館空港まで
約19分
短縮**

▼標準断面図 (赤川IC～函館空港IC間)





はこだて しんそとかんじょう どうろ
函館新外環状道路（一般国道278号）
くうこう どうろ あかがわ はこだて くうこう
空港道路（赤川IC～函館空港IC）

開通記念式・鉄入れ式及び通り初め及び一般開放

【開通記念式・鉄入れ式】

- (1) 日 時 令和3年3月28日（日）10：30から
- (2) 場 所 北海道渡島総合振興局（函館市美原4丁目6-16）
- (3) 主 催 函館広域幹線道路整備促進期成会
函館開発建設部

【通り初め】

- (1) 日 時 令和3年3月28日（日）12：20から
- (2) 場 所 函館新外環状道路（一般国道278号）空港道路本線上 赤川IC
- (3) 主 催 函館広域幹線道路整備促進期成会
函館開発建設部

【一般開放】

- (1) 日 時 令和3年3月28日（日）15：00から

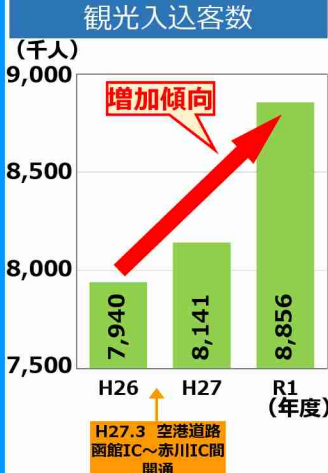
※式典（開通記念式・鉄入れ式、通り初め）は、新型コロナウイルス感染症への対策を行った上で開催いたします。
今後の感染状況によっては、式典を中止する場合があります。

広域周遊観光の活性化を支援



函館新外環状道路 赤川IC～函館空港IC 令和3年3月28日 開通

- 函館市は、交通拠点となる北海道新幹線駅、函館港、函館空港が整備されており、近年、観光入込客数、訪日外国人宿泊客数が増加傾向で、道内外からの観光需要が高まっており、函館空港と直結することで、市内渋滞を回避できる周遊観光ルートが形成されます。
- 空港道路の整備により、北海道縦貫自動車道や函館・江差自動車道と連結することにより、主要観光地までのアクセスが強化され、定時性が向上することで、新型コロナウイルス感染症による影響で大きく落ち込んだ広域周遊観光の活性化を支援します。

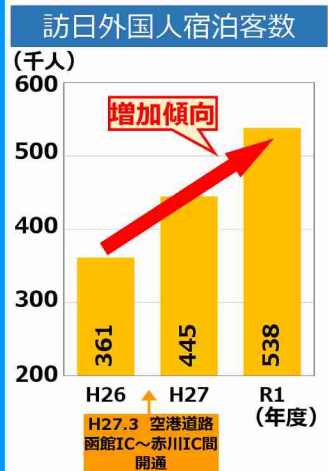


所要時間の変化

(函館空港～大沼国定公園)

空港道路 整備前 (一般道通行時)	47分
空港道路 函館空港IC開通後 (R3.28)	31分 (16分短縮)

資料：H27全国道路・街路交通情勢調査、函館IC～日吉ICは80km/h、日吉IC～函館空港ICは70km/hにて算出



ピックアップ “縄文遺跡群”バスツアー

大船遺跡と垣ノ島遺跡は、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産として、世界文化遺産の正式登録を目指しており、貸切りバスツアーを開催しています。

国宝「中空土偶」

ピックアップ 函館の“朝市”

函館の主要産業である水産品の出荷には函館空港や函館港が使われています。函館朝市ではイカ釣り堀による観光客へのPRに加え、函館の活イカは、鮮度保持した状態で函館空港より道外へ出荷しています。

資料：北海道観光入込客数調査 (函館市・北斗市・七飯町・鹿部町の合計)
資料：はこだてフィルムコミッション提供



声 【旅行、バス事業者】 コロナ禍前は、道内外からの観光需要やニーズが高まっていると感じていました。現在のコロナ禍における影響で落ち込んだ観光需要回復を図るため、宿泊事業者や飲食事業者等が連携を進めている状況です。空港道路の整備により、函館空港から大沼国定公園まで市内渋滞を回避し直行できる事は観光地の滞在時間増加につながります。また、世界文化遺産登録を目指す縄文遺跡群と連携した新たな周遊観光ルートの形成が期待されます。

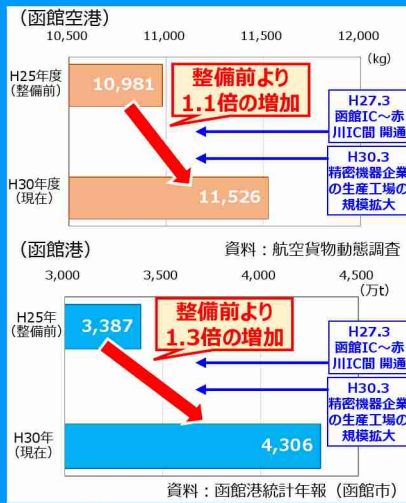
精密機器製品の流通利便性向上



函館新外環状道路 赤川IC～函館空港IC 令和3年3月28日 開通

- 道南圏の物流拠点である函館空港、函館港の取扱貨物量は近年増加しており、製品出荷で利用する函館臨空工業団地は、近年売上げを伸ばしている精密機器企業が立地しています。
- 輸送ルートである道道函館上磯線（通称：産業道路）は、交通混雑が頻繁に発生しているため、交通状況に合わせた集荷時間の変更を余儀なくされ、出荷前検査や積込時間に大きな影響を与えています。
- 空港道路の整備により定時性が確保され、精密機器製品の流通利便性向上が期待されます。

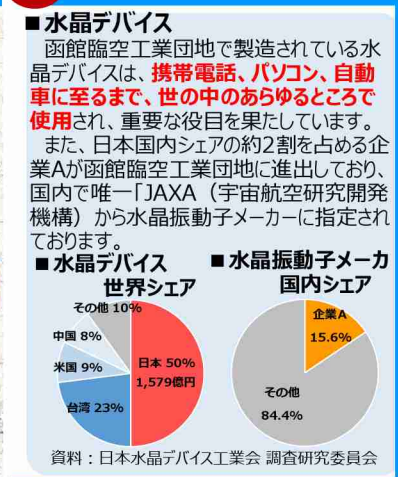
函館空港・函館港の取扱貨物量



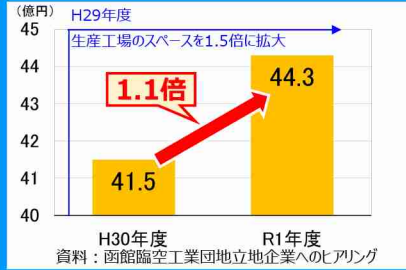
函館臨空工業団地立地企業の開通前後の輸送ルート



水晶振動子メーカー



立地企業の売上げの推移

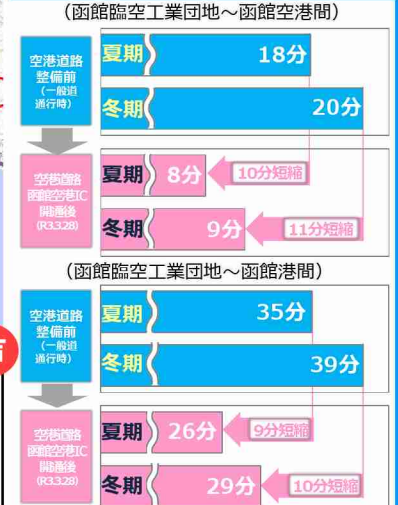


産業道路の渋滞状況



【精密機器製造事業者(函館臨空工業団地立地企業)】
 立地企業の多くは航空便を利用していますが、産業道路は渋滞しており、かなり時間に余裕を持って出発するなど、読めない遅延が発生する不安が大きいです。交通状況によっては輸送会社からの要請で、1～2時間程度、通常時よりも集荷が早まることもあり、出荷前検査の前倒しや航空便の出発時間に間に合わないこともありました。空港道路整備による、速達性や安定性などの定時性確保による流通利便性向上に期待しています。

所要時間の変化



資料：H27全国道路・街路交通情勢調査、函館IC～日吉ICは80km/h、日吉IC～函館空港ICは70km/h、冬期速度はH28～30年度ETC2.0フリーブ速度(通常期:4～11月、冬期:12～3月)から算出した冬期低減率を通常期速度に乗じ算出

速達性向上による 救急搬送の支援



函館新外環状道路 赤川IC～函館空港IC 令和3年3月28日 開通

- 道南ドクターヘリの出動件数は近年増加しており、そのうち、脳疾患、心疾患の特定疾患に関わる重篤な患者が搬送される函館市内の高次医療施設へのドクターヘリによる搬送が増加しています。
- ドクターヘリは、出動後の日没や悪天候の際、照明・誘導施設の整った函館空港に着陸し高次医療施設へ救急搬送していますが、救急車の搬送ルートである道道函館上磯線(通称:産業道路)の慢性的な交通混雑により、救急搬送に多くの時間を要しています。
- 空港道路の整備により、医療施設への速達性が向上し、迅速な救急搬送を支援します。

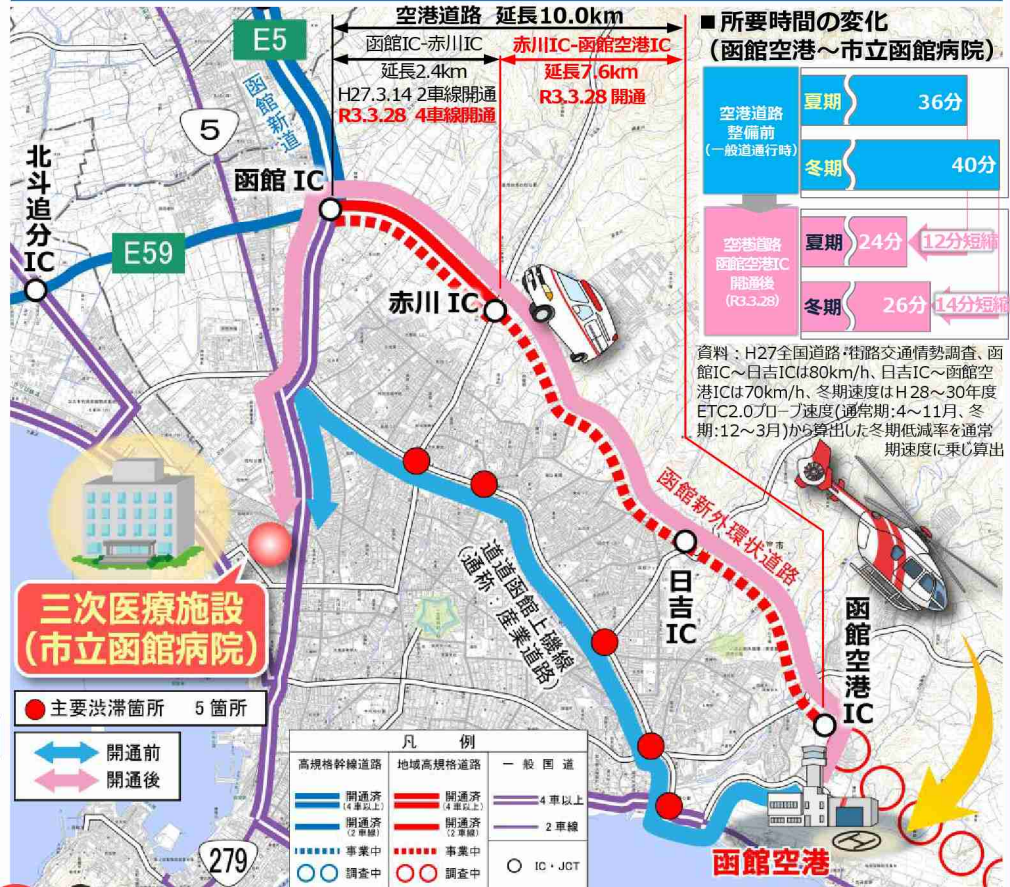
道南圏の脳疾患・心疾患対応医療施設



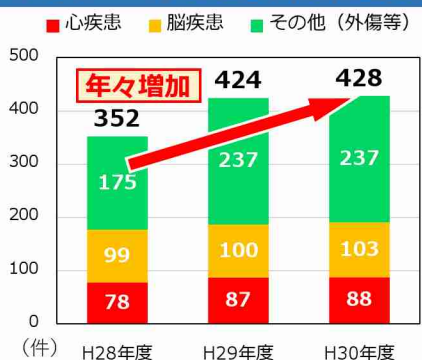
資料：H30～H35北海道医療計画

高次医療施設		
急性心筋梗塞の急性期医療を担う医療施設	脳卒中の急性期医療を担う医療施設 (函館市のみ)	脳卒中・急性心筋梗塞の急性期医療を担う医療施設

三次医療施設への救急搬送ルート



ドクターヘリによる救急搬送実績



声 【ドクターヘリ事務局】

通常ドクターヘリは、搬送先病院の最寄のランデブーポイントに着陸し患者を搬送しますが、搬送途中での急な気象条件悪化や日没の際には、照明・誘導施設の整った函館空港に着陸します。搬送ルートの産業道路は頻繁に交通混雑が発生し、著しく時間を要する状況です。

空港道路の整備により函館空港と病院間の迅速な救急搬送が可能になると期待しています。

交通事故の低減及び 通学児童の安全性向上

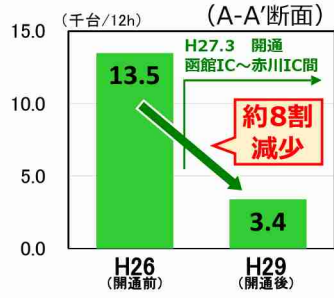


函館新外環状道路 赤川IC～函館空港IC 令和3年3月28日 開通

- 空港道路に並行する道道函館上磯線（通称：産業道路）には、主要渋滞箇所が存在し、慢性的な交通混雑により、道幅の狭い市道赤川石川線への交通回避が発生し、交通量増加に伴う交通事故が多発していました。
- 函館IC～赤川ICの開通後、市道赤川石川線では、交通量や交通事故の減少に伴って、車両と児童・生徒の接触の危険性が減り、地域住民の安全性が大きく向上しています。
- 赤川IC～函館空港IC間の整備により、並行する道道及び市道からの交通転換が期待され、交通事故の低減及び通学児童の安全性向上に寄与します。

函館IC～赤川IC間の並行市道 赤川石川線の交通量の推移

▼ 赤川石川線（函館IC～赤川IC開通前後）



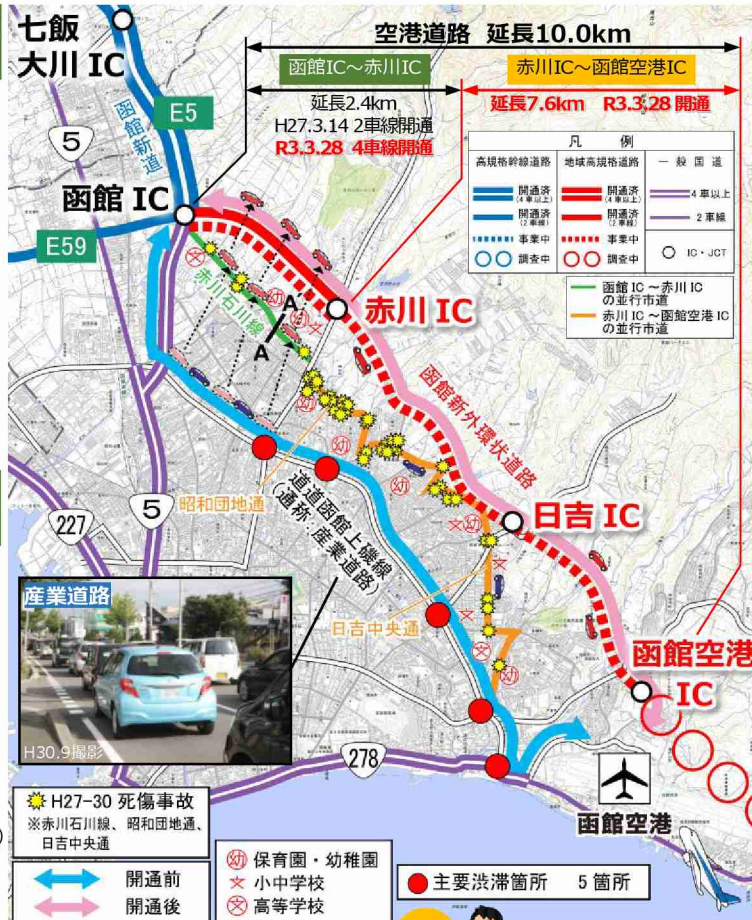
開通前：H26.9.18. 開通後：H29.9.27
時間：7-19時 資料：函館開発建設部

赤川石川線の 死傷事故件数の推移

▼ 赤川石川線（函館IC～赤川IC開通前後）



資料：交通事故・生活道路統合データ (H26-30)
(公益財団法人 交通事故総合分析センター)



赤川IC～函館空港IC間の 並行市道の交通状況



資料：函館開発建設部

声 【赤川石川線沿線の学校関係者】

函館IC～赤川IC開通前は、交通量が多く、左右にくねくねカーブしているため、登下校時における車両と児童・生徒の接触による人身事故の危険性を感じていました。開通後は、通過車両が大きく減少したことから、安全性が向上していると感じています。

声 【昭和田地通沿線の学校関係者】

小学校前の昭和田地通は道幅が狭く・カーブが連続していますが、年々交通量が増加しており、児童の登下校時には事故の危険性を感じています。空港道路の整備による通過交通の転換、地域住民の安全性向上に期待しています。